



うわじま 市議会だより

平成21年
(2009)

第 17 号

12月1日



👉 新宇和島市議会議員

新宇和島市議会構成決まる 議長に山下良征議員が就任 副議長に薬師寺三行議員

もくじ

- 就任あいさつ、臨時会の概要、新しい議会構成、人事の同意、定例会の概要 2～3
- 請願・陳情、決議・意見書、議決結果 4
- 代表質問、一般質問 5～8

議長に山下良征議員が就任

副議長に薬師寺三行議員



議長 山下 良征



副議長 薬師寺 三行

市民の皆様には、平素より議会に対しまして、「ご指導並びにご協力を賜り、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

このたび、九月臨時会におきまして、多数の議員の推挙により、私たちが正副議長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、平成17年8月1日合併以来、四年余りが経過

しました。その間、新しい時代にふさわしいまちづくりを目指し、各種施策に積極的に取り組んでおります。しかし、宇和島市を取り巻く情勢は大変厳しいものがあります。目前に迫った超高齢化社会への対応はもとより、主力となる第一次産業の低迷による大幅な税収入の落ち込み等、経済の活性化は焦眉の急となっております。

市議会といたしましては、地域住民の代表機関として、皆様のご意見を市政に反映させ、自ら政策提言に努めるとともに、活発な議会活動を通して市民の皆様への期待にこたえる所存であります。

市議会の運営が公正かつ円滑に行われますよう、誠心誠意努めさせていただきますので、市民の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます、就任のご挨拶といたします。

臨時会の概要

平成21年9月宇和島市議会臨時会は、9月18日に招集され、1日間の会期により開催されました。

まず、地方自治法第103条第1項の規定により、議長、副議長選挙を行ったあと、議員提出議案「宇和島市議会委員会条例の一部改正について」が、採決の結果、

原案どおり可決決定されました。

次に、各常任委員会委員、議会運営委員会委員を選任し、宇和島地区広域事務組合、南予水道企業団、津島

議 会 構 成			
議長：山下 良征		副議長：薬師寺 三行	
委員会名	委員長	副委員長	委 員
総務委員会	大窪美代子	三曳 重郎	小清水千明・福本 義和・清家 康生 坂尾 眞・我妻 正三
厚生委員会	福島 朗伯	赤松 与一	泉 雄二・赤岡 盛壽・薬師寺三行 松本 孔・正木 健三
教育環境委員	上田 富久	岩城 泰基	浅田 良治・藤堂 武継・山内 秀樹 椛山 義将・安岡 義一
産業建設委員	石崎 大樹	赤松 孝寛	土居 秀徳・三好 貞夫・兵頭 司博 木下善二郎
議会運営委員	兵頭 司博	上田 富久	浅田 良治・泉 雄二・松本 孔 赤松 与一・大窪美代子・福島 朗伯 石崎 大樹・三曳 重郎

人事の同意

水道企業団、それぞれの議会議員選挙が行われました。

次に、市長から、「宇和島市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて」他13件の人事案件が提案され、満場一致で同意いたしました。

続いて、「工事請負契約について」が、理事者より説明があり、採決の結果、原案のとおり承認されました。

●宇和島市公平委員会委員

高 田 博 明

(西予市明浜町俵津3番耕地24番地)

山 下 太 郎

(桜町1番38号)

中 矢 千 穂 子

(三間町宮野下962番地)

●宇和島市教育委員会委員

赤 松 稔 彦

(吉田町法花津8番耕地)

180番地1)

田 坂 佳 代 子

(妙典寺前乙568番地3)

●宇和島市監査委員

木下 善二郎

(朝日町2丁目3番16号)

山下 茂治

(住吉町1丁目5番3号)

谷泉 澄雄

(津島町上畑地丁62番地)

山中 均

(津島町上畑地甲1809番地)

宮崎 護

(津島町上畑地甲91番地1)

●宇和島市畑地財産区管理
会管理委員

米田 稔

(津島町下畑地甲2147番地)

渡邊 勝延

(津島町下畑地甲1109番地)

曾根 貞義

(津島町上畑地甲604番地)

土居 榮之進

(津島町下畑地乙89番地)

定例会の概要

平成21年9月宇和島市議会定例会は、10月6日に召集され、10月23日までの18日間の会期により開催されました。

【初日】10月6日

「宇和島市国民健康保険条例の一部を改正する条例」他15議案が提出され理事者より説明がありました。

【2日目】10月15日

代表質問に5名の議員が登壇し、市政全般に関しての質問が行われ、活発な質疑応答が行われました。

【3日目】10月16日

一般質問に3名の議員が

登壇し、活発な質疑応答が行われたあと、初日提出議案、追加議案、請願・陳情が、所管の常任委員会に付託されました。

また、「平成20年度宇和島市公営企業会計決算の認定について」及び「平成20年度宇和島市一般会計及び特別会計の認定について」は、決算審査特別委員会を設置して、これに付託の上、

事務組合・企業団員名簿

宇和島地区広域事務組合議会	山下 良治・浅田 千明 泉 雄二・小清水 秀樹 福本 義和・山内 秀将 松本 孔・梶山 義将
南予水道企業団議会	山下 良治・土居 秀徳 三好 貞夫・山内 秀樹 清家 康生
津島水道企業団議会	山下 良征・泉 雄二 福本 義和・兵頭 司博 三曳 重郎

閉会中の継続審査といたしました。

【最終日】10月23日

各常任委員長から委員会における審査経過と結果についての報告があり、採決の結果、原案のとおり可決決定されました。

また、追加案件として上程された、人事案件7件につきましても提案のとおり同意、可決されました。

続いて、愛媛県後期高齢者医療者医療広域連合議員の選挙及び宇和島市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が行われ、次の方々が選出されました。

愛媛県後期高齢者医療
広域連合議員

石橋 寛久

宇和島市選挙管理委員会委員

三津田 健

板倉 聖治

有馬 正美

土居 秋義

同補充員

杉本 善信

石崎 英雄

早田 道允

宮本 清幸

人事の同意

本定例会において、市長から7件の人事案件が提案され、満場一致で同意し、次の方が選任されました。

●宇和島市副市長

岡野 昇

(笹町2丁目1番10号)

●宇和島市固定資産評価員

岡野 昇

(笹町2丁目1番10号)

●宇和島市懲戒審査
委員会委員

増田 吉利

(鬼北町大字永野市981番地)

村上 登志雄

(和霊町1515番地1)

渡邊 榮宣

(吉田町法花津6番耕地)

181番地1―2

森藤 裕子

(三間町兼近571番地)

泉 定男

(津島町岩松1155番地2)



請願陳情

(今)議会提出分)

◆請願第1号

宇和島市祝森柿ノ木地区
へのごみ処理施設新設地
反対を求める請願書

(教育環境委員会)

継続審査

◆陳情第2号

陳情書 (市道用地の寄付
について)

(産業建設委員会)

採択

◆陳情第3号

児童養護施設「みどり寮」
改築に対する宇和島市の財
政援助等に関する陳情

(厚生委員会)

採択

◆陳情第4号

伝送路メンテナンス工事
委託に関する陳情書

(総務委員会)

継続審査

(継続審査分)

なし



9月定例会議案等審査結果

番号	件名	議決結果
議案第88号	宇和島市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第89号	宇和島市都市公園条例の一部を改正する条例	
議案第90号	宇和島市水道事業の設置及び経営の基本に関する条例の一部を改正する条例	
議案第91号	平成21年度宇和島市一般会計補正予算(第3号)	
議案第92号	平成21年度宇和島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	
議案第93号	平成21年度宇和島市老人保健特別会計補正予算(第1号)	
議案第94号	平成21年度宇和島市介護保険特別会計補正予算(第1号)	
議案第95号	平成21年度宇和島市病院事業会計補正予算(第1号)	
議案第96号	平成21年度宇和島市水道事業会計補正予算(第1号)	
議案第97号	土地改良事業の実施について	
議案第98号	土地改良事業の実施について	
議案第99号	新たに生じた土地の確認について	
議案第100号	字の区域変更について	
議案第101号	市道路線の認定について	
議案第102号	市道路線の変更について	
議案第103号	宇和島地区広域事務組合規約の一部変更について	
議案第104号	宇和島市職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例	
議案第105号	宇和島市副市長の選任につき同意を求めることについて	
議案第106号	宇和島市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	
議案第107号	宇和島市懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日当選
議案第108号	宇和島市懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求めることについて	
議案第109号	宇和島市懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求めることについて	
議案第110号	宇和島市懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求めることについて	
議案第111号	宇和島市懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日原案可決
選挙第7号	愛媛県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	
選挙第8号	宇和島市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	
議員提出議案第5号	経済危機対策の着実な実行を求める意見書(案)	

意見書

9月定例会に議員提出議案として提出された意見書は議決され、関係省庁等へ提出されました。

★経済危機対策の着実な実行を求める意見書

世界的な金融危機に端を発した景気の後退は、企業の撤退・集約化に伴う雇用の悪化や消費の冷え込みなど、本市経済を直撃し、市民生活にも大きな不安を与えている。このため、本市では、国の数次にわたる景

気対策に呼応し、雇用の確保、中小企業金融対策など地域経済対策に全力を挙げているところである。しかし、県内経済は、一部に持ち直しの動きが見られるものの、雇用情勢は、依然として厳しい局面が続いており、個

人消費の冷え込み等も懸念されるなど予断を許さない状況にあり、地域経済を活性化させ、景気や雇用状況を好転させていくためには、切迫のない景気対策を推進していく必要がある。

こうした中、今回の政権交代により、民主党の「マニフェスト」に示された政策・制度への変更が進められることになる。

総額で14兆円を超える平成21年度第1次補正予算は、地域活性化・公共投資臨時交付金、地域活性化・経済危機対策臨時交付金、

経済対策関連の自治体に交付される15の基金などの創設等が計上されており、各地方自治体は、当該基金などの活用を前提に、経済危機対策に資する事業を計画している。

地方が経済危機対策として懸命に取り組んできたこの平成21年度補正予算の執行を一部凍結するとの報道がなされているが、これら補正予算で措置された地方向けの交付金等は、現下の経済・雇用情勢への対応はもとより、介護職員の処遇改善や介護施設の整備、地域

医療の再生や学校の耐震化など、国民の生命や生活、教育を守る施策推進のための貴重な財源である。

仮に、これを凍結するという事態になれば、市民生活に直撃し、地域経済の更なる悪化を招くなど、地方

に及ぼす影響は計り知れない。よって、国におかれては、地方自治体の取組みや地方の財政状況を十分に理

解し、地方自治体が行っている景気・雇用等の緊急の施策に支障が生じることがないよう、補正予算の円滑

かつ完全なる実施を図るとともに、地域の実情に応じた更なる景気対策に万全を期すよう強く要望する。

代 表 質 問

自民党議員会

上田 富久

学校統廃合について



【質 問】

市長の諮問を受け、宇和島市学校整備連絡協議会

は、昨年2月、統廃合案を示し、答申を行いました。この答申は、少子高齢化、

人口の減少等、現代社会を取り巻く環境の変化への対応、また、子供達を取り巻く環境を一刻でも早く良くしたいという想いを加味したものであると理解しております。

市長並びに担当理事者は、この答申をどう受け止められ、どのような考え方でおられるのかでしょうか。

【答 弁：市長】

できるだけ早く対応したいと考えておりますし、答申の重要さというのは認識しております。当然重要視してやっていかなければいけないと認識しております。一方で、統廃合について、国としても方針を検討しているということが昨年から出てまいりました。この12月ぐらいまでに国の方針が示されるといふこともあるので、そこら辺との整合性を保つためにも、統廃合につ

いては、宇和島市の歩みを緩めたいということも議会でも答弁させていただいております。今そういう状況にあつて、現実に来年からこの学校を統合しますというところにはまだ至ってないといふことですが、2、3年先には、統合をしていかなければいけないところも出てこようというのも事実だと思っております。

給食センター建設について

【質 問】

平成18年10月に学校給食センター建設検討委員会より答申がなされ、早くも3年が経ちます。本来であれば、来年度より供用開始になるはずだった計画が、建築予定地が都市計画決定されておらず、用途変更の手続きをしなければならぬため、平成22年度中の供用開始に延びたわけです。

また、以前の答弁で、用途変更するために、新宇和島市のマスタープランを作成し、まちづくりの方針及び土地利用の方法を決定、建設予定地付近の土地利用の具体的な資料を作成するため、平成20年度に基礎調査及び同時に地区別説明会を開催し、用途変更の協議を行い、その後校長会、説明会を開催し、地域住民の同意を得て、市の都市計画審議会に諮り、知事の同意を得て、都市計画決定することとありました。

しかし、その後どのような状況なのか、分からない状況です。これまでの経過、今後のスケジュールについて伺います。

【答 弁：市長】

都市計画を変更しなければいけないという現実的な対応の中で、地元の方々に説明会を行いました。その席に来られた方々の意見を

聞きますと、総論としては、今住宅専用地域になっておりますけれども、それを準工業地帯といいますか、何にでも使いやすいような用途に変更するというのには、反対の意見が多数あるということ認識いたしまして、これにどう対応するか、今考えているところです。

都市計画の変更については、県が許認可の権限を持つておりますので、県も含めて理解を得られるような方法を何とか考えたいということ、今検討中であり、ご理解いただきたいと思っております。一方で、特に宇和島のセンター



が大変古いということ、ご指摘のとおり食の安全ということを考えたときには、センターを1日も早く改築をしたい、しなければいけないということは思っており、いつまでもこの用途の問題、土地の問題で時間をかけるわけにもいかな

いということ、その年限としては、この年度内が精一杯のところなのかなということ、県とも相談しながら方向性を再検討するといいますが、検討をさらに加えてはつきりしたところを決定したいと考えております。

自由民主党

兵頭 司博

九島架橋の建設について

【質 問】

去る6月末日に県の職員と市の関係理事者が高松地方整備局へ、7月6日には市長自らが国土交通省、都市・地域整備局、離島振興課長及び課長補佐に会って「九島架橋事業の新規事業採択について」の陳情を行ったとお聞きしましたが、その感触はどの様であったかをお伺い致します。その後、市長及び関係理事者は、精力的に地域廻りを行ってきたのは周知の事



実ですが、まだまだ、一部の議員や市民からは説明不足との声が聞かれている中、あの激しい三つ巴の市長選に突入した訳であります。「ストップザ九島架橋」相手候補が高らかに選挙戦の争点として掲げてまいりました。それに対し市長は「九島架橋促進協議会」の力を借りながら「九島架橋」の是非を訴えて、見事勝ち抜いた事実を市長はどのように考えるかお伺い致します。

その他の質問事項

- ◆ 財政問題について
- ◆ 機構改革について
- ◆ 環境センター建設について
- ◆ 水産振興について
- ◆ 新型インフルエンザ対策について

【答 弁：市長】

今回の選挙で、マニフェストに挙げた九島架橋ですが、残念ながら霞がかかっております。最終的には新しく誕生した民主党政権の判断になると思っております。

ただ、手順としては、高松の地方整備局や県にお願いに行きました。書類は東京の国土交通省の担当課に届いていると確信しております。来年度の国の補助事業に入っておりますが、今後の見直しの中で、削られることなく、採択して頂けるように、今後頑張っていくかなければと思っております。採択いただければ、来年の作業としては、本体の詳細設計、その後再来年から着工となり、完成まで5年

を要し、平成27年度の完成を目指します。

新宇和島病院の個室使用料について

【質 問】

患者が入院時、4人部屋を希望したが、満床の為空きがない。しかしながら、個室には空きがあるとなつたケースに、どう対処するのか。この問いに關しまして、理事者の答弁は「今の状況の中で、もう入院させる部屋がないので、ここしかないのをお願いします」ということになれば、逆に個室料は取れません。」というものであった様に思いますが、

しかしながら、開院後の実状は、患者に対し病院側の説明として、「個室しか空いていませんが、それで



ご理解いただければ入院してください。」といった内容で承諾を取り、当初「取れない」と明言していた個室料金をいただいているようであります。言い換えれば、納得いただけないなら、他の病院をお探しく下さいということでもあります。退院後、思わぬ経済的な負担が課せられたと口にする市民の方々も、少なくないようであります。当時、私どもに説明された内容と、現場での現実的な対応には相違があります。このことについて見解を伺います。

【答 弁：医療行政管理部長】

大部屋を希望して個室に移した場合での個室料の無料化ということですが、平成19年に議会の中でお話をしたという履歴がございます。そして、平成20年の6月頃に、院内の経営会議がありまして、病院の将来の運営管理方法について定められた際に、病院の管理上必要がある場合については無料とするが、それ以外は無料としないという方針が出されています。1年前に議会

で話しましたことから変更になったことを、議会で説明していませんでしたので、この場をお借りしまして、深くお詫びします。し

かしながら、入院する際に看護師が患者や家族に確認し、同意書もとっていますので、ご理解頂きますようお願いいたします。

自民党市民クラブ

三 曳 重 郎

水産業政策・後継者育成事業について

【質 問】

平成6年、宇和海を襲った海水の変化を要因のひとつとする真珠貝の大量死、赤潮の発生による養殖魚への影響、漁獲高の減少など、漁業を取り巻く環境は厳しさを増すばかりであります。第1次産業従事者は昭和55年1万5千800人余り、平成12年1万2000人余りと減少をたどり、その中の漁業従事者は、平成5年から10年で、1千800人程度減少し、将来の水産業へ不安を投げ掛けております。

近年の宇和島市の漁業従事者数の減少はどのように

なっているのでしょうか。

近年価格の低迷や燃料代の高騰など、若者が漁業を受け継ぐには厳しい環境になりつつあります。宇和島市民は水産王国の復興を願っており、漁業後継者には伝統文化、技法などを受け継ぐことも必要であります。その為に宇和島市では漁業後継者育成の必要を認め、総合計画書の中にも水産業の振興として後継者育成事業をあげていますが、どのような内容ですか。



【答 弁：市長】

漁業における後継者のピークは昭和61年で、その

その他の質問事項

- ◆医療体制の構築について
- ◆学校耐震化工事・新給食センター建設進捗状況及

び学校統廃合について

- ◆産業振興・雇用拡大について
- ◆ワンストップ行政サービスについて

頃には後継者の協議会を作って、事務局は水産課が所管してがんばっています。ところが、合併を機に解散して、いまだに新たな後継者の協議会はできていません。その背景には、この10年来の漁業の売上の不振、生産性の悪化があります。

後継者を増やすためにも漁業の再生は、何としてもしなければいけない課題であると思っております。県のほうにおいて認定漁業者という制度がございます。宇和島市の漁業者も、数名ですが加わって、新しい養殖業の開発ということとで前向きなところもでてきているという状況です。

水産業政策・特産品の開発事業について

【質 問】

長引く不況により、漁獲高は、平成13年43.2億2

千900万円余り、17年の39.5億5千800万円余りと4年間で36億7千万円余り減少し、この地を永らく支えてきた水産業の疲弊には誰もが心を痛めております。

新たな雇用の拡大にも繋がる特産品作りを積極的に推進する試験研究施設の誘致、整備事業は、前期基本計画の最重要プログラムとしていますが、事業の進捗状況と、今後の見通しはどのようになっていますか。

【答 弁：市長】

養殖業の方は、売値のコスト割れという現実に対して後継者が減っています。漁船漁業は、獲り過ぎ、資源の枯渇という問題があります。特にじゃこ天、かまぼこ、当市の誇る加工練り製品、これの材料となる魚が減っています。愛大のシーメス、沿岸環境科学研

究センターで研究してもらっていますが、ある程度の線を越えると激減してしまつのではないかと、警告の調査結果が出されています。ちりめんの資源の保護といつことも考えて、休漁期を設けるとか、網の規制をするとか皆で考えなければならぬ時がきています。

その他、有用な副産物は、市の方も努力していて、とさかのりの養殖、これについては、真珠の資材を使って新たな投資がほとんどいらず、種になるとさかも海に潜って採取できます。岩ガキの養殖につきましても試験的にしてもらったところ、採算的には、まあまあかなという状況です。ただ、えさが真珠母貝と同じなので、岩ガキが増えると真珠母貝の育ちが悪くな



るおそれがあります。

県の方では、九州の民間会社と組んでひじきの栽培を試験的に行っています。

まぐろの養殖というのも大手をとりこんで、宇和島でもとりかかりました。温暖化が進むと、こういうこ

自由民主党島志会

赤松 与一

宇和島市の農業をどう考えるか

【質問】

農産物価格の低迷により、農業経営は厳しい状態になっております。若い後継者がおられる所は高齢化した人の園地をあたっては耕作面積を増して所得をあげているのが現状であります。

宇和島市の農業後継者数を見ましても、15年度が旧宇和島市21人、旧吉田町70人、旧三間町0人、旧津島町8人で総数99人。20年度では旧宇和島市22人、旧吉田町77人、旧三間町5人、旧津島町7人、総数111

とも取り組むべきかと思っております。

その他の質問事項

◆農業政策・農業の振興について

◆農業政策・鳥獣害対策について

人でやや増えておりますが、農業人口に比べると少ないのが現実です。

後継者不足による今後の農業経営をどう考えるかお答え下さい。

食料・農業・農村基本法第35条第2項において「国は、中山間地域等においては、適切な農業生産活動が継続的に行われるよう農業の生産条件に関する不利を修正するための支援を行うこと等により、多面的機能の確保を特に図るための施策を講ずるものとする。」と書かれています。これにより、中産間地域等直接支払交付金が、田で2万1千円、畑で1万1千500円で地区では農道の補修や草刈りをしたりしております。



す。

市としても国の方に中山間地域等直接支払制度の継続を要望して戴くようお願い致します。

【答 弁：市 長】

農業経営をどうするかという問題ですが、1番には、稼げる農業を目指していただきたいものです。行政としては、販売、加工等これまで以上に協力していきたいと思えます。

中山間地域等直接支払制度ですが、今年度で5年間の期限が切れます。来年度からはつきりまだやるといふことは、できていませんが、知事陳情、国に対しても市長会を通じてこの制度を是非維持していただくことを昨年からお願いしております。

きさいや広場の現況について

【質問】

きさいや広場が開店して、早くも半年を過ぎました。売上状況をみますと、レジ通過客数が9月末で45万7千831人、売上高は4億54万8千35円、営業日数158日、一日平均売上259万5千255円となっており、スタッフ一同の働きぶりを評価するものであります。しかし売上が多くても、経費がかかれば赤字の場合もあります。レジ通過客数の中で宇和島市外の方が何割くらいおられるのか、又経営状況をお聞き致します。

建設前に商店街への影響

が出るのではないかと心配もしていたのですが、半年で45万人も来れば相乗効果が出るように考えてほしいと思います。商店街への影響はどうですか。市長にお聞き致します。

又、出店等で順番待ちとか、出店者が旧宇和島市に偏っていると聞きます

が、今後の経営方法を聞かせて下さい。

【答 弁：市 長】

商店街への影響ですが、きさいや広場で売っているものと商店街のものは違うので、直接的な影響は無いと思っております。

しかし、商店街の人通りを減らすことのないよう、モーターバスやペロタクシーを取り入れて、市内を回遊する人を増やす政策に取り組んでいきます。

待機者が多いということですが、JAさんが運営されている直産市場のスペースが少し広がりしましたが、そこにまだ新しい人が入れてないということ。イベントの参加者を増やすこと等をJAさんと話していくことを考えております。きさいや広場で売ってい



るものは基本的には、宇和島市のものを、もしくは姉妹都市のものを一部売るということにしたいものです。

公 明 党

我妻 正三

新型インフルエンザ対策について

【質 問】

本格的な流行に備えての取り組みについて、国、県や地域の医療機関また、事業所との情報共有や連携体制はどのようになっているのかお伺いいたします。

【答 弁：保健福祉部長】

国が策定した「新型インフルエンザガイドライン」等により、国、都道府県、市町村の役割が定められております。国家の危機管理上、重大な課題であるとの認識のもと、その対策に取り組んでいるところでありますが、県では、医療体制の整備を、市では、住民生活対策を行うというふうに、相互に連携しながらその役割

その他の質問事項

◆九島架橋建設について

◆宇和島市立3病院の件に

を果たしているところでありませう。

現在、市の保険健康課には市民や事業所等から1日に数件の相談が寄せられており、内容に応じて、宇和島保健所が設置する「発熱相談センター」を紹介するなどの対応をしております。

また、学校等においても、欠席者等の情報を毎日、教育委員会へ報告する体制をとっており、市も対策の一環として、マスク3万枚をはじめ、防護服や消毒液等の備蓄を進めております。



【質 問】

高齢者の多い介護施設、福祉施設などで感染者が発生した場合の感染対策につ

ついて

◆小中学校耐震について

◆宇和島市の観光のあり方

いてお伺いいたします。

【答 弁：保健福祉部長】

厚生労働省事務連絡「新型インフルエンザの発生に対する社会福祉施設等の対応について」に従い、社会福祉施設等に情報提供を行います。また、市のホームページを活用し、施設等に更に周知徹底を行うとともに、

女性特有のがん検診推進事業について

【質 問】

現在、市内の対象者に無料クーポンの送付をされていると思いますが、この子宮頸がんと乳がんの検診対象者は何名でしょうか。

【答 弁：保健福祉部長】

女性特有のがん検診推進事業として公費助成することとなった、子宮頸がんの検診対象者数は、20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の節

施設等において感染者が発生した場合においては、南予地方局、宇和島保健所及び市役所内関係部局等との連携を図り感染の拡大防止に努めたいと思います。

【質 問】

重症化した患者の受け入れ可能な医療機関は市立宇和島病院ですが、感染症病床が4床で対応できるのですか、お伺いいたします。

【答 弁：医療行政管理部長】

市立宇和島病院にありませう感染症病床というのは、SARSとかAIDSの発症



いついつな対策をこられておりますか。

【答 弁：保健福祉部長】

全ての対象者に検診の対象であることを通知すると同時に検診手帳を配布しております。また、案内通知と共に無料クーポン券を送付し、クーポン券を持参した方を助成対象者として自己負担額を全額助成いたします。当該検診の実施に当たり年度当初の検診日程に4日間の集団検診を追加し、現在、申し込みを受け

付けているところではない
ます。

その他の質問事項

◆少子化対策、子育て支援

◆自宅に係る住居手当につ
いて

◆地場産業雇用促進について



社会民主党

岩城 泰基

「三不主義」につ いて

【質問】

市長公約に、嘘をつかない、悪口を言わない、弱音を吐かない、とわかりやすい言葉で市長の思いが述べられていきます。嘘をつかないとは、発言した言葉に対して責任を持つということによろしいでしょうか。

【答 弁：市 長】

市の状況、正しい情報を市民に知っていただくということにおいても、嘘をつかない、現状をきちんと説明しなければいけないと



思っており、今後とも発言についても責任を持つていかなければいけないと思っております。

【質問】

悪口を言わないということも必要なことだと思えます。賢明な市長のことですから、非難と批判の違いについては、十分ご認識だろうと思えます。批判に対する市長の見解を求めます。

【答 弁：市 長】

常に客観的な市民の方々の意見を聞くという、この

姿勢だけは失わずに今後ともやっつけていかなければいけないと考えております。

【質問】

弱音を吐かないということも述べられております。もう一点、コンプライアンス、法に反する悪いことはないといったことも付け加えてもらったらと思えます。見解を求めます。

【答 弁：市 長】

当然ながら法を順守するということは当たり前と考えています。その中で情報の公開というものは、今までやってない手段も含めて、できるだけ良くなるようにやっていきたいと思えます。

給食費の無料化につ いて

【質問】

市長の英断を賛同したい半面、心配な点もあります。市長が政治決断をする、それが実現可能かどうか担当部署と若干の協議が必要なのではないか。実現できないことを決断しても駄目なわけです。県との協議も

必要だと思えます。県立中学校では適用除外ということでは公平性に反する、県としても宇和島だけ無料化するわけにいかない。それに対してどう考えているか、答弁を願います。

【答 弁：市 長】

市長選挙に対する一候補者という立場で自分の思い、それから今までの経験に基づいて、可能なことを判断しながら、後援会資料ということを出させていただけました。その選挙の結果私は市長にならしていただいたということ、これから自分の書いたことに対する責任という意味において、どうすれば実現できるか、職員や、給食については南中学の存在もございまして、今基礎的な情報な

どを集めているところです。

【質問】

私の持っている資料では、来年度から実施と出ておりますが、これについて答弁を求めます。

【答 弁：市 長】

やるからには早い方がいいという判断で、来年から導入を検討したいと述べさせていただいております。

【質問】

第一次宇和島市総合計画の中でも、安心・安全でおいしい給食の提供と、地産地消、食育の視点を立った取り組みを進めると謳っております。無料化による質の低下は避けなければならぬと思えますが、市長の答弁を求めます。

【答 弁：市 長】

質の低減をするつもりもないし、逆に豪華な給食に出来るという夢も持っておりません。現状を無料化すること、子育て支援をやれないかと考えている状況です。ただ、一日も早く給食センターを改築し、設備の面から改善を図って、おいしくて安全な給食の提供を



実現したいと考えています。

その他質問事項

◆09年8月30日施行の衆議院選挙について

日本共産党

坂尾 眞

地方税等の徴税強化と税務行政のあり方について

【質問】

総務省の資料によると2007年度しかありませんが、個人住民税の滞納残高が、固定資産税を上回ったと報告されています。

2007年度から住民税が、それまでの3段階の累進税率から、一律の10%の税率に変更されたため、所得200万円以下の低所得層に対する税率が倍加し、重い負担が掛かるようになったことが原因です。

同時に、当時の自公政府は「三位一体改革」と称して地方交付税を削減するとともに、「地方公共団体財

◆積立金34億円の実績について
◆離島の通院助成について
◆宇和島市の雇用情勢について
◆文化行政と地域活性化について

政健全化法」を制定し、地方財政の監視の徹底、さらに、地方自治体が徴税を強化するようにしました。



このような状況の下で、自治体と住民との間に、深刻な「対立」関係のようなものが生まれてきています。住民の暮らしと福祉を守る自治体労働者としての誇りや喜びが、奪われてしまっているのが危惧されます。

そこでまずお聞きします。会計閉鎖の3月末時点での税目別滞納者数と金額及び徴収率をお聞きします。

【答 弁】市民環境部長
今年度末の税目別滞納者

数と金額と収納率ですが、税目については個人住民税、固定資産税、国民健康保険料を、滞納金額につきましては千円単位でかまいませんでしょうか。

市民税ですが現年度分1千876人、8千135万円、1千円で収納率が97.26%。過年度分の市民税2千150人、1億3千32万6千円、収納率19.90%です。

固定資産税ですが、現年度分が1千942人、1億4千470万8千円、収納率96.60%。過年度分1千525人、3億4千32万2千円で収納率が16.21%です。

国民健康保険料の現年度分2千746世帯、2億4千565万2千円、収納率91.70%。過年度分2千206世帯、2億9千462万円、収納率22.11%です。

合計で3税目の他に法人税と軽自動車税を合わせた現年度分の滞納人数が7千758人、金額が4億8千208万5千円、過年度分が7千300人で、7億9千300万3千円です。

小中学生の医療費無料化について

【質問】

次に、新宇和島病院の入院小中学生の医療費の無料化の問題であります。

子どもの貧困、子育て世代の貧困の中で子どもの健康が危機にさらされていることは事実だと思えます。そういった中で小中学生の医療費の無料化、就学前は、以前にやっていたいただきましたが、新たに小中学生の医療費の無料化が求められています。

まず、通告済みの事項、小学生と中学生の入院・通院の医療費の窓口負担と保険会計の負担金について、を数字でお願いします。

また、「現物給付」と「医療費払い（償還払い）」の違いもお答えください。

【答 弁】保健福祉部長
国保のベースで社保、共济とも割り出したものです。小学校児童数4千727人で入院負担額約700万円、中学校生徒数2千660人で約400万円、合



わせて1千100万円です。外来の負担額は小学生が6千300万円、中学生が3千万円になるという数字がでています。

また、償還払いというのは、医療機関で2から3割の自己負担額を支払い、後日申請により助成される分の償還を受ける方法です。現物給付方式は医療機関で自己負担分を支払わなくてもよい方法です。

現物給付で助成すると、国は国民健康保険療養費等国庫負担金を減額します。償還払いは、国庫負担に変動はありません。

その他の質問事項

◆3病院の改革プランについて

◆資格証明及び短期証発行の現状と問題点について

◆同和対策について

自民党議員会

小清水 千明

分庁方式について

【質問】

これまで支所の人数が急激に減っていくということ、行政改革に対する反対ではないが、あまりにも急激だと提言いたしました。

その中で、市長は本庁方式にしないと効率が悪くというように一方的なご答弁だったように思います。

行政改革を考えながら地域への配慮も考えてという方針転換といえますか、政策がこんなに変わったのかと、そういう幅ができたのかと疑問に思います。メリットもデメリットもあるが、みんなの意見を聞きながら判断すると言われ、それなりの成果があつての公約かなと考えております。その点、メリットについて市長はどのような判断をさ



れて分庁化ということを言われたのかお伺いします。

【答 弁：市長】

メリットとして、より住民に必要なサービスを提供しやすくなるであろうということと、やはり住民の期

ごみ焼却場について

【質問】

先般10月6日に教育環境委員会の勉強会がございました。7月27日の石丸地区施設新設反対委員会との地区懇談会で、石丸地区は延命については、条件付きではあるが、認める態度表明ありと書いておりますが、間違いありませんか。
【答 弁：市民環境部長】
7月27日の石丸地区との懇談会の中では、地区の参加者の中からそういう意見が出てございました。

待をある程度カバーするには、人数ということもひとつの要素であることを考えたときには、本庁集中型ではなくて、変えてみていいのかなと考えています。

そんな中で、そういう組織を追求しながら一部を分庁するというか、課を分けるということについては、これから実験的な意味も含めて、大いに考えるべきではないかと考えております。

【質問】

この石丸地区は何名いらっしゃるんですか。

【答 弁：市民環境部長】

自治会入りしていない方も含めて55世帯前後というふうに聞いております。

【質問】

この請願書にあるわけですが、全部の自治会の加入戸数が464、その中の55ということと、1割ちよつとですけども、ここで賛成があったら他のところも賛成してくれると理解してよろしいんですか。

【答 弁：市民環境部長】

一地域として、そういう切実な要望として受けておりますので、これを参考にした上で、先日市長が建設場所については、そういう諸々のことを含めて柿の木地区で建設させていただきたいと発表させていただいたということとです。

【質問】

議会にも出ておりますが、「宇和島市祝森柿の木地区へのごみ処理施設新設地反対を求める請願書」これについて市長はどのように受け止められておりますか。



【答 弁：市長】

基本的には、祝森の方々、かなりの方々が、できることならば、祝森からは外してほしいという希望があるのは、その請願書に出ていると思います。ただ、ごみ処理施設の機能として、安

全性も含め格段が上がっており、昔のようにダイオキシンを出して迷惑施設になるということはないと思っておりますが、一方、やはりまだ感覚的に迷惑施設であることは間違いないと私も思っております。そういう施設が来ることに、一般論として、なかなか賛成

ということとは少なく、反対という方が多いんだろつと思っております。私としては、できるならば、議論を深めて、本当に反対なのか、そこら辺りをもつともつと話し合いをしていかなければいけないと考えています。

その他の質問事項

- ◆病院運営について
- ◆給食費について
- ◆九島架橋について
- ◆固定資産税について

市議会だより第16号中の9ページ、一般質問の『日本共産党 板尾眞』は、『日本共産党 坂尾眞』の誤りです。訂正し、お詫びを申し上げます。